

～活動の報告と計画～

研修委員会

委員長 桜木こどもの森 岡田博次

七月二十三日に保育士等養成校との意見交換会を開催し、実習・就職の二テーマを設け、養成校の先生方と活発な意見交換が行われました。別途、詳しくご報告いたします。

これまでに左記の研修会が終了しています。主な講師等のご紹介です。

●育児相談研修会（八月二十九日）

会場 プラザヴェルデ（沼津）

主な講師 有沢孝治氏（東海大学教授）

●民間園長研修会（十一月二十二・二十一日）

会場 松風閣（焼津）

主な講師 山田剛輔氏（香川小学校総括教諭）・橋本真理子氏（テレビ静岡報道制作局長）

●施設長研修会（十二月二十日）

会場 グランシップ（静岡）

主な講師 倉石哲也氏（武庫川女子大学教授）・井上眞理子氏（洗足こども短期大学教授）

今年度内の今後の計画は次の通りです。

○新規採用予定職員研修会（二月）

本年度の研修事業はいかがでしたでしょうか？ 来年度も時代や制度の変化に対応するべく、研修内容を検討中です。ご参加お待ちしております。

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

本年度の県への要望事項は、先号でお伝えした通りです。

みなさまご承知の通り、保育業界には、定員割れ、処遇改善、人材確保、長時間保育、物価高騰等、解決すべきさまざまな問題がありますが、ここ数年と同じく、配置基準の更なる改善を中心に要望しました。諸問題の中でも、とりわけ、この点に前進があれば、保育の質の向上にも保育者の負担軽減にも、直接的に大きな効果が見込まれます。

十月七日には、県会議員の方々にも、保育業界の現状をお伝えし要望を訴え、一定の御理解はいただけたと思います。財政的な問題も関係するので、早急な問題解決は難しいところですが、粘り強く声を上げていきます。

今に始まったことではありませんが、保育所等には、入所児童の保育だけでなく、地域の子育て支援の中心として機能することが求められています。誰でも通園制度の本格実施が予定されていますが、地域のインフラとしての役割が、より一層要求されていることの表れでしょう。

その役割の重さに見合った制度や政策が実現するよう、今後も努めていきたいと思えます。

保育のしおり編集委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

この度、六年ぶりの改定作業を無事終えることが出来ました。

編集作業を行いながら、六年の間に保育を取り巻く社会情勢や制度の改定など多くのことが変わってきたことを改めて実感いたしました。

「保育のしおり」が活用していただきやすい物になるようまた、質の高い保育・教育の提供の実現を目指すことを改定の目標とし、職員の資質向上に寄与する内容になるよう編集委員一同知恵を出し合い作業いたしました。いつも手元に置き有効に活用してください。

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

令和六年度の静岡県保育士等キャリアアップ研修も事業計画通りすべての研修日程を無事終了することが出来ました。

昨年度までとは違いすべての研修が有料化されましたが、多くの申し込みをいただき三〇〇〇名以上の方が受講されました。

県担当課との協議も来年度の予定について進めているところです。一人でも多くの方に希望の分野の受講ができるようになればと思

います。
質の高い保育・教育の提供ができるよう受講される皆様のキャリアアップが図れるような研修の提供ができるよう今後も協議検討を重ね実施できればと思います。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

実習受入マニュアル作成委員会

委員長 野中こども園 中村章啓

九月・十一月に二回の委員会が開催されました。他道府県の保育団体や、保育士養成協議会などで作成された類似のマニュアル・ガイドライン等を参考にして、静岡県保育連合会独自のマニュアルの作成が進められています。

委員会には、常葉大学保育学部の柴田賢一教授にもスーパーバイザーとしてご参加いただいています。各委員が具体的な作業を進める中で直面した課題等を基に議論する中で、県保連としてマニュアルを作成する上でのミッションも定まってきました。

実習生はもちろんのこと、受入施設の職員もまた、安心感の下に実習を楽しみ、対話的な関わりを通じて学びを深めていく。それを支えるためのマニュアルを実現させたいと考えています。また、養成校との意見交換会でも触れられることが多くなった合理的配慮の視点も盛り込むことになりそうです。二月開

催予定の第四回委員会を経て、年度内の完成を目指しています。

海外交流委員会

委員長 認定こども園 原町保育園
鶴谷由美子

今年度は四年ぶりに海外交流研修の実施が叶いました。視察先は、南シナ海に面した東南アジアの国「ベトナム」。

ハノイ市内の保育教育施設の見学や今現在の国情勢などを伺うことができました。事後報告会では、海外に行ったことで自国について改めて考えるいい機会だったこと、子どもたちとベトナムについて話しながらベトナムのおもちゃで遊んでみたこと、一緒に過ごした仲間と繋がり情報交換もできたことなど、参加したみなさんが笑顔で報告する姿がみられこの研修が実りあるものであったと嬉しかったです。

来年度も六月に海外への視察を予定しています。日本とは違う文化や生活に触れ見聞を広めると共に、研修期間を共に過ごす仲間との親睦を深めるとてもいい機会になりますので多くの皆さまにご参加いただきますようお願いいたします。なお、募集要項は令和七年三月に出す予定です。

少子化等問題検討委員会

委員長 認定こども園 原町保育園
鶴谷由美子

毎年十一月は児童虐待防止推進月間と定められており、静岡県でも十六日に「児童虐待防止静岡の集い」が静岡市民文化会館中ホールで開催されました。静岡市内の園長などが参加しました。講演会では、自身の父親からのDVに苦しみこの世で幸せになることをあきらめ出家を決意した経験を持つ荒巻仁氏から「いい親ではなく笑う親になる」「いい子ではなく笑う子を育てる」をテーマに「笑育学」の話を聴きました。講演後は、荒巻氏の半生を描いた絵本も紹介されました。

毎年静岡県の皆さまに、子育て支援の関心と理解を求める啓発活動の経費を助成する制度を実施しています。ぜひ活用していただきたいと思っています。また、啓発品について「あいあいホットマーク」のクリアファイルのデザインを新しくしました。付箋セット、ピンバッチなどもありますので、協力金へのご支援もよろしくお願いいたします。

